

今号は9月8日・10月20日開催された「豊中駅前 通りの改善に取り組む会」改め「通りを改善する会」で検討された内容をお伝えします。

## 第2回『わがまち再発見！まちあるきワークショップ』が開催されました。

この取り組みは、まちの問題点もさることながら、みんなで我がまちの宝物を探すことが主眼です。第2回目は10月30日に開催されました。見慣れたまちでもゆっくりと見て歩くと意外に楽しいものや新しい発見が多々あることに驚かされます。まちづくりの源は、我がまちへの愛着と誇りだと思います。駅前に代々住み続けている人達、阪急電車の開通と豊中駅の誕生を契機に移り住んできた人達、最近に駅前に期待し移ってきた人

達、それぞれ、みんなが認め合えるまちの資源を見つけ、協同して磨き上げるためのきっかけにしたいものです。第1回目は、まちづくりニュース10月中旬号「まちづくり掲示板」で詳細をお伝えしました。第2回目は次の11月中旬号でお伝えする予定です。



## 駅前の通りの改善策について考える

「改善に取り組む会」では、昨年度実施しました歩行者アンケートで指摘された箇所について、「交通まちづくり技術研究所」所長の飯田祐三さんからアドバイスを頂き、その改善策を検討しました。その中で議論となった、近々に実施される「都そば前の改善案」について簡単に報告します。

- 市の改善策である信号の設置により、
- ① 国道176号から刀根山道へ入る車が抜け切れず、国道に溢れるのでは？
  - ② 銀座通りが今以上に車が渋滞するのでは？
  - ③ 横断する歩行者の中には信号が青になる時間が長すぎて待ちきれず、赤で渡る人が多くなり、かえって危ない事になるのでは？

といった意見がありました。

折角、市が検討を重ね最良案として実施されたことが無駄にならないためにも、再度、市の担当課と地元とで、専門家のアドバイスも交え検討する必要があるようです。

また議論の中で、

- ① 現状のままでは最良の改善策は望めない
  - ② 一番街の一部一方通行化や銀座通りの車の規制（例えば、駅へ行くバスは大池小を通す）など
  - ③ 道路の使い方を変えることを視野に入れ、検討する必要がある
- といった考えが示されました。

詳細は次号以降にお知らせします。

## 『刀根山道のこれからを考える会』

開催日時：2010年11月17日 午後1時30分より

会場：大池コミュニティプラザ



どなたでも参加できます

刀根山道の補修工事が予定より遅れて実施されるようです

市からは、「当初9月には着工される予定が12月初旬頃になりそうだ」と連絡がありました。当協議会では、舗装工事に併せて、刀根山道の改善に取り組むための話し合いの場を開催します。当日は市の担当課である道路維持課の職員の方から、工事の内容について説明して頂きます。是非ともご参加下さい。

お問い合わせ：豊中駅前まちづくり推進協議会事務局 06-6852-7661 小林

会 員  
募 集 中

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して  
住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費（一口以上何口でも）  
個人会員一口 300円  
商店会員一口 1,000円

問い合わせ先：  
まちづくりセンター（協議会事務局）  
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190